

福井火力発電所三国 1号機の主タービン点検について

平成24年11月7日
北陸電力株式会社

当社は、福井火力発電所三国 1号機（定格出力：25万kW）において、主タービンの振動が高めに変動する現象が発生したことから、監視を強化しておりました。

当面は電力の供給に支障がない水準の予備率を確保できる見通しであることから、今冬に向け安定した供給力を確保するため、点検を実施することといたしました。

点検作業は昨日（11月6日）19時から開始しております。原因は現在調査中ですが、点検期間は概ね1週間程度を見込んでおります。

なお、当面の供給予備率は10%以上を確保できる見通しであり、電力供給に支障はありません。

主タービン

複数の翼で構成されており、ボイラーで発生させた高温・高圧の蒸気により回転することで同軸につながっている発電機を駆動させるもの。

以上

<主タービン概要>

